

無垢フローリングの美しさ・快適さを保つ気配り

「永く美しく、快適にお使いいただくために」

生活の中で気をつけていただきたいことをまとめました。

傷・へこみを防ぐために

キャスター・車椅子・家具

キャスター付きの椅子や家具、車椅子を引きずったり直接使用したりすると、傷や破損のもとになります。必ず脚元にフェルトを貼るか、マットやカーペットなどを敷いて床表面を保護しましょう。

※いずれの場合も傷やへこみを緩和するため、傷がまったくつかないというわけではありません。



重量物

ピアノや冷蔵庫などの重量物の脚部には小幅の保護板などの緩衝材(インシュレーター)を敷いて重量を分散させましょう。移動の際は、引きずらないようご注意ください。直接置いたり、引きずって移動すると凹みやキズのもとになります。冷蔵庫付属キャスターをご使用の際は、必ず硬質マットを敷いてください。



砂

外部からの砂やスリッパの裏面に付着した異物により表面がすり傷状に見える場合があります。砂や異物を除去し、ご使用ください。

ペット

ペットのツメで床表面を傷つける可能性があるため、注意しましょう。

マット・カーペット

マットやカーペットなどの固定に粘着テープ(ガムテープ/両面テープ)の使用は避けましょう。はがす際、床表面を傷めるもとになります。

シミ・色あせを防ぐために

水・湿気

浴室・洗面・キッチン等、頻繁に水がかかる場所は、マットを敷いて水濡れにご注意ください。濡れたマットはそのまま放置せず乾かしてください。目地から水分を吸い、シミや変色、ヒビ割れのもとになります。水をこぼした場合はすぐに乾いた布で拭き取り、その後はそのまま自然乾燥をし、膨れなどが生じた場合もドライヤー等を使わないでください。

布団の上げ下げ

直接床の上に布団を敷いて就寝される場合などは、床に湿気が溜まり伸びまたはカビなどの原因となりますので、必ず布団の上げ下げを行ってください。



マット・カーペット

マットやカーペットで覆われた所は、周囲と比べ色差が発生することがあります。日焼けやマットの下に湿気がこもることでシミになることなどが原因です。通気性の高い素材を選び、定期的にマットやカーペットの位置を変えるようにしましょう。また、裏面にビニールコーティングをしていないものをご使用ください。

ペット

ペットの排泄物を放置すると、シミや変色するおそれがあります。排泄物で汚れた場合はすぐに拭きとりましょう。ペットの唾液をそのまま放置するときれいに拭き取れない場合があります。その際は、住居用洗剤(中性)を含ませた布で拭いてください。

洗剤・灯油・コーヒー・染毛液

洗剤・灯油・コーヒー・しょう油等をこぼし長時間放置すると、シミや変色のおそれがあります。すぐに固く絞った雑巾で拭き取ってください。染毛液や靴墨などによる汚れは放置すると取れなくなるため、ご使用の場合は床にカバーなどを敷いてください。

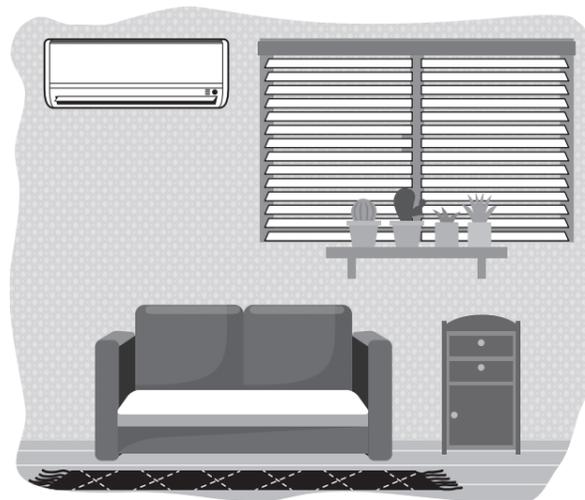
ヒビ割れを防ぐために

光

自然素材のため、日焼け・色褪せはいたします。特に、日光にあたる時間が長い箇所は、顕著に現れます。日焼け・色褪せだけでなく、割れを避けるため、カーテンやブラインドで直射日光を避けるようにしてください。

湿度

湿度によりフローリングが伸縮します。30%の湿度の場合、目地が約1.5mm開いた実例もございます。逆に、湿度が高いと伸びてしまい、突き上げや反り、割れが起こる事があります。約40～60%の湿度に保っていただく事が、人にもフローリングにも最適とされております。



こんな場合、どうすればいい!?

子供が落書きをしてしまった

乾拭きしても落ちない汚れは、水(もしくは中性洗剤を10%程度に希釈した水)に濡らした雑巾を固く絞って拭き、その後乾いた雑巾等で乾拭きしてください。UVウレタン塗装品のみ、頑固な汚れはベンジンを含ませた布で手早く拭いてください。その後、乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。油性・アンモニア系・研磨系のクリーナーは使わないでください。

傷をつけてしまった

軽微な傷は家庭でも目立ちにくくすることができます。表面のゴミを取り除き、市販されているパテやフロアクレヨン(補修用)にて色みを合わせ、各商品の説明書に沿って補修をしてください。

暖房器具

温風ヒーターの熱風や反射ストーブの熱気などが直接床材にあたると、ヒビ割れや変色、継ぎ目に隙間が発生するもとになります。小さなマットなどを敷いて保護しましょう。冷蔵庫からの熱風も同様です。



エアコン

エアコン暖房などを長時間連続して使用すると、室内が乾燥しすぎてしまい、床材の継ぎ目に隙間が発生したり、ヒビ割れが発生するもとになります。加湿器などで適度な湿気を補うようにしましょう。(適度な湿度:40～60%)

※加湿器の吹出口近くの床表面が水濡れし、ヒビ割れや変色が起こることがあります。加湿器の位置を高くするか、吹出口の向きを変えましょう。床表面が水濡れした場合は、すぐに拭き取りましょう。

電気カーペット

電気カーペットの使用は避けて下さい。同じ場所で長時間ご使用になられますと熱がたまり高温になり、反り・縮み・割れの原因になります。

火のついたタバコを落とした

タバコやアイロンの焦げ跡は一度つくると取れません。充分にご注意ください。

